

# 令和元年度改選 候補者公報 (記載はアイウエオ順)

令和元年 5 月 17 日 一般社団法人三重県作業療法士会 選挙管理委員会

代表理事候補	<p>(1) 田中 一彦 (たなか かずひこ)</p> <p>この度、代表理事として立候補しました松阪中央総合病院の田中一彦です。</p> <p>県士会活動には、平成 6 年より理事として、渉外部長、組織部長、副会長を務め、会長職は、平成 27 年度より 2 期 4 年間活動を行ってきました。</p> <p>渉外活動では、日本作業療法士協会、近隣県士会との連携、県内の医療関係団体とも顔の見える関係作りができ、啓発・学術活動では、特設委員会として、認知症作業療法推進委員会、運転と作業療法委員会、地域包括ケアシステム推進委員会、発達支援作業療法推進委員会等を設置し関係団体への啓発活動、会員への知識技術のための研修会などを行い成果が得られました。今後課題として、臨床実習指導者養成講習会の運営や三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて障害者スポーツの推進活動などが挙げられています。様々な課題に対し県士会員、理事、監事の方々と協力していただき県士会活動を推進していきたいと考えています。よろしくお願い致します。</p>
理事候補	<p>(1) 石崎 健 (いしざき たけし)</p> <p>県士会が一般社団法人化した頃より理事として関わらせていただいております。主に規約を整備する立場と精神科領域に関わる立場から、非常に微力ながらこれまで携わって参りました。県内の OT 一人一人が自分たちの職域を守り、より社会に必要とされる存在となるために、県士会は不可欠な組織です。ただ一部の限られた者だけで延々と運営される組織は、偏りも大きくなり健全とは言えません。全ての会員が県士会活動の当事者として運営を担っていただけるような組織づくりが引き続き必要と考えます。</p> <p>(2) 井手 洋平 (いで ようへい)</p> <p>この度、令和元年～2 年度の理事に立候補させていただき医療法人博仁会村瀬病院の井手洋平です。私は平成 27～30 年まで 2 期に亘り、財務部長をさせて頂き県士会の活動に携わってきました。今期も同様に会員の皆様から納めて頂いた会費をしっかりと管理し、県士会の活動に少しでも貢献できるように会計業務に携わっていきたく思っております。会員の皆様と県士会の活動が繁栄できるように精進したいと思いますので、よろしくお願い致します。</p> <p>(3) 上野平 圭祐 (うえのひら けいすけ)</p> <p>この度、理事として立候補しました市立四日市病院の上野平圭祐です。</p> <p>私は、県士会では福利部部長として活動をしてきました。福利部は同じ作業療法士として三重県で働く県士会員同士の交流、情報交換の場を皆さんに提供しています。新人の先生からベテランの先生まで幅広い世代間での交流を持つことによって、所属施設の垣根を超えた横のつながりを持った県士会を目指していきます。</p> <p>今後は福利部としての活動だけでなく、理事としても県士会運営に貢献していきたいと考えています。よろしくお願い申し上げます。</p>

(4) 大塚 美奈子 (おおつか みなこ)

この度、渉外部部長として立候補致しました大塚と申します。作業療法士は対象者の生活・心・人との繋がりをしっかりみて(見・視・看・診・観)共感、感動し、活動していく職業であると思っています。

そのなかで、人・物・心の様々な環境を利用するために考えられることが沢山あります。三重県作業療法士会として会員の皆さんに上記の点で発見・発信・行動していきたいと考えます。具体的には、関係団体への情報共有と作業療法士としての視点を発信・展開できるようにします。関係団体としては行政・企業・教育など今までに関係作りされているところや今後作業療法士会としての発展が考えられる部門(子供さんからお年寄りまでの広い世代・ものづくりや情報に関する団体など)多様な方面と考えます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(5) 佐藤 明俊 (さとう あきとし)

この度、理事に立候補しました佐藤明俊です。

前任期までは、副会長として県士会活動、会長支援、事務局長交代に伴う支援を行なってきました。今回の選挙で理事になりましたら、全任期同様に県士会活動、会長支援、事務局長支援を行うほか、2021年の全国障害者スポーツ大会開催に向けての県との連絡調整や、各士会員への啓発、技術支援指導を行っていききたいと思います。また、障害者スポーツ大会時のコンディショニングルーム運営に向けての各団体との協議等にも尽力を注ぎ、県士会として県や各関係団体と関係構築を行なっていききたいと思います。

(6) 島崎 博也 (しまさき ひろや)

私は平成14年度より三重県作業療法士会啓発部に所属しており、平成29年度より理事として活動しています。作業療法士が地域貢献を行う職種として必要とされるために、リハレンジャーを中心とした啓発イベントや次世代の作業療法士を発掘する為に高校生作業療法体験・見学会イベントを実施しています。

この間、様々な啓発イベントに参加し、最近では作業療法の知名度が向上している実感はありますが、他医療職に比べるとまだまだ認知度が低いと感じています。「こころとからだを元気に自分らしく生きるためのリハビリテーション」として「幅広く柔軟に対応できる作業療法士」の重要性をより多くの方に知っていただきたいと思っています。

今後も、県士会員の皆様が作業療法士として様々な所で活躍でき、満足していただけるよう理事として誠心誠意活動していくと共に、作業療法士が多くの県民の方に活用していただけるよう様々な視点で啓発していきたいと考えます。

(7) 冨中 真吾 (とみなか しんご)

今回理事に立候補しました三重県立総合医療瀬センターの冨中です。

これまでは教育部部長として県士会活動に取り組んで参りました。教育部の活動としては生涯教育制度の運用です。臨床実践の基礎を学習する現職者共通研修と各領域に関連する作業療法の理論や現状を学習する現職者選択研修の企画し運営します。近年では日本作業療法士

協会が力を入れて取り組んでいる生活行為向上マネジメント（MTDLP）研修を企画し、多くの県士会会員が知識と使用方法を習得できる機会を企画します。また今年度からは後輩育成に欠かせない臨床実習指導者研修を企画します。

教育部として活動内容は多気に渡りますが研修を通じて県士会員学ぶ場所の提供とこれからの作業療法の発展に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

(8) 松本周二（まつもと しゅうじ）

理事として立候補させていただきました松本周二です。私は学術部長 10 年、組織部長 2 年、事務局長 2 年させていただきました。事務局長として事務局移転に伴う作業、ホームページの更新等に取り組んでまいりました。今後も会員活動がスムーズに行えるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(9) 牧野 有華

この度の選挙で立候補いたします牧野有華と申します。

前回の選挙で初めて理事を拝命し、組織部長として活動させていただきました。この 2 年間は県士会という組織について今後どうしていくとよいのかを考え、会長ら三役と他の理事と協力しながら、三重県リーダー養成研修の運営や新入会員への県士会活動の協力体制作り、県内の少人数職場へのアンケート調査、管理職 OT のネットワーク作りの会の運営など、現状の把握と的を絞った活動に努めました。

県士会という集団に所属することへの捉え方は会員それぞれだと思います。ただ、組織としてまとまっていないと他団体や県・国などに認めてもらえませんが、声を上げて聞いてはくれませんが、元号も変わり、次の世代にも作業療法士という職業をつなげていく為に何ができるかを考え、会員の皆様と一緒にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(10) 宮坂 裕之（みやさか ひろゆき）

このたび、一般社団法人三重県作業療法士会の理事に立候補させていただきました、宮坂裕之です。

私は、3 期 6 年間、県士会の理事及び広報部長をさせていただき、県士会員の活動を広報誌という媒体を通して伝えさせていただきました。2 期目の 2 年間は、広報誌の運用について会員にアンケートを実施し、紙媒体から電子媒体に変更しました。これは大きな変化だと考えています。電子媒体化によって、会員の皆様の活動を県内外へアピールできると考えています。当会の活動を有効活用するためには、広報の役割は重要であると思っています。

今回、引き続き、理事に立候補させていただきますが、法人の理事として微力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(11) 山本 泰雄（やまもと やすお）

これまで地域貢献などを目的とした事業部、地域リハビリテーション部での活動に携わってきました。昨今では地域ケア会議や総合事業などの依頼が増えてきており、実際に県内の作業療法士が関わっています。これは、各市町に担当窓口を設け依頼に迅速に対応してきた一定の成果だと

	<p>考えています。しかしながら、作業療法の視点をもって「自立支援」に貢献できているかが課題として残っています。参加するだけでなく結果を出せるよう成長していくことが重要です。その為には人材育成や各市町の情報を共有できる場を設けるなどの活動が引き続き必要だと考えています。各委員会とも連携して、私達作業療法士にできることを明確に発信し、地域で活躍できる作業療法士が増えるよう、引き続き尽力したいと思います。何卒、ご支援賜りますようお願いいたします。</p>
<p>監 事 候 補</p>	<p>(1) 永田 穰 (ながた みのる)</p> <p>令和元年度当初予算案の収入総額は 4,232,000 円(平成 29 年度は 4,735,000 円。以下同じ)で、内訳は会費収入 3,410,000 円(3,070,000 円)、事業収入 78,200 円(1,625,000 円)、入会金収入 40,000 円(40,000 円)です。会員数の増加により会費収入は増えますが、事業収入が半減し収入総額も減少しています。</p> <p>支出総額は 4,409,000 円(平成 29 年度は 4,537,000 円)で、内訳は旅費交通費 1,417,000 円(1,115,000 円)、通信費 616,000 円(498,000 円)、印刷製本費 498,000 円(846,000 円)、会議費 463,000 円(410,000 円)、委託費 405,000 円(130,000 円)、講師費 332,000 円(485,000 円)、消耗品費 199,000 円(179,000 円)、賃借料 177,000 円(311,000 円)、福利厚生費 120,000 円(132,000 円)、備品費 100,000 円(140,000 円)です。旅費交通費、通信費、委託費が増加し、印刷製本費、賃借料が減少しました。ホームページをリニューアルするため委託費が増え、県士会ニュースを Web 配信にしたことにより印刷製本費が減少しています。</p> <p>引き続き一般社団法人三重県作業療法士会の運営を監査していく所存です。よろしくお願いいたします。</p> <p>(2) 橋本昌弘 (はしもと まさひろ)</p> <p>この度、監事に立候補いたしました橋本昌弘と申します。</p> <p>三重県作業療法士会では、約 20 年間理事を務めました。会長、副会長、事務局長、渉外部部長等を務めてきた経験を活かし、作業療法士会の運営がより活発かつ適正になるように意見を述べていく所存です。どうぞよろしくお願い致します。</p>